



栄養教諭、事業所の健康管理センター、  
学校(幼稚園～中学校)など

## OB・OG紹介 — 卒業生の現在 —



### 田中佳奈さん

愛知県刈谷市立刈谷南中学校  
(刈谷市第一学校給食センター) 栄養教諭  
新潟県立新潟中央高等学校普通学科卒業→新潟  
医療福祉大学健康科学部健康栄養学科卒業→刈  
谷市立刈谷南中学校勤務

#### 現在のお仕事について教えてください

給食管理と食に関する指導が主な業務です。給食センターと中学校を兼務し、安全安心なおいしい給食を届けるための給食管理と、給食の時間や教科と連携した食に関する指導を行い、子どもたちの生きる力を育てています。

#### ご自身のお仕事への思いについて教えてください

子どもたちの成長を家庭と一緒に支えていけるこの仕事に、とてもやりがいを感じています。一方で、県全体を通して、栄養教諭の存在がまだ教師や子どもたちに認知されていないという現実もあります。栄養教諭が全校配置に至っていない今、学校全体として食育を進めていくためには何が必要なのか、日々模索しながら働いています。

#### 高校生の頃、どんなことを考えて過ごしていましたか？

高校生の頃は、小学生の頃からやっていたアーティスティックスイミングに夢中になり、毎日そのことばかりを考えていました。ただ、スポーツ栄養については中学生の頃から興味があったので、何かスポーツ栄養に関わる仕事ができればいいとは思っていました。

## 管理栄養士になった理由はなんですか？

中学生の時に参加したスポーツの合宿で、食事の内容が競技によって大きく異なることに強い衝撃を受けました。その時から栄養について興味を持ちはじめ、食事と身体の結びつきに関わる職業である管理栄養士を目指したいと思うようになりました。

## 「新潟医療福祉大学でよかった」と思うことはなんですか？

それぞれが就職した今も、自分の学びや考えを共有し、お互いを刺激し合える仲間がいるということです。管理栄養士は、働く場所によって業務内容が大きく異なります。1人職場になることも多いため、例え施設が違って、ともに管理栄養士として働く仲間の存在はとても大きいです。この大学だからこそ出会えた、素敵な仲間だと思います。

## 臨地実習ではどこに行きましたか？

大学では臨床栄養学実習として県内の脳外科病院、給食経営管理論実習として県内の小学校、公衆栄養学実習として新潟県内の保健所、栄養教諭免許を取得するための教育実習として新潟市内の小学校に行きました。

## 最も印象に残っている臨地実習先はどこでしたか？

教育実習が最も印象に残っています。実際に小学校2年生のクラスに入り、給食時間の食に関する指導や授業を行いました。2週間という短い時間でしたが、素敵な先生方と子どもたちに出会い、教えることの難しさと楽しさを学ぶことができました。この実習があったからこそ、今の私がいると思っています。

## その実習先での活動は現在のお仕事につながっていますか？

栄養教諭にとって「物事を様々な方向から捉え、考える力」というのがとても必要だということを、卒業後、強く感じています。「どんな実態があって、どんな手立てが必要なのか」、まだまだ学ばなければいけないことがたくさんありますが、確実に大学での講義や実習先での学びが今の私の基盤となっています。

